

学校だより



よりよく生きる

～時を守り 場を清め 礼を尽くす～

発行 2025年(令和7年)10月

第8号

発行責任者 駅家中学校長

体育大会がありました。保護者の皆様、参観ありがとうございました。

10月10日(金)はEKIYA体育大会でした。「つなぐ」をテーマに団長やリーダーを中心に練習を重ねてきました。今年から各団ごとのダンスを取り入れたり、競技を縦割りで構成するなど、新しい試みを取り入れ、生徒がより主体的に考え協働できるような構成にしました。いかがだったでしょうか。生徒のアンケートや生活記録には、とても前向きな記述が多くありました。生徒が「よりよいものができた!」と実感していることがとても嬉しく感じています。

また、この体育大会で学んだことを今後はどう生かすか。10月14日(火)の6校時、新人戦の壮行式の前に山本先生から話がありました。生徒は真剣に聞いていました。生徒の声や山本先生の話は裏面に掲載しています。是非目を通していただけたらと思います。ありがとうございました。

優勝青団！接戦を制しました！おめでとう！



温かさあふれる黄団！楽しさをあたえてくれました！



全団リーダー大集団！最高でした！



元気いっぱい赤団！活力をあたえてくれました！



縦割り種目：大縄跳び



縦割り種目：綱引き 保護者の方も急遽参加、ありがとうございました。



縦割り種目：全員全脚



※裏には生徒の声などを載せています。

すごく楽しくて、濃い時間であった。団長や先生方に感謝したいと思いました。

小学校の運動会と違ってみんなで創るダンスがあったり、今までなかった競技があったりと不安だったけど、楽しく終えることができました。

体育大会、1位はとれなかったけど、全部惜しかったと思います。最後の体育大会、このチームでよかったと思いました。

僕は駅家リーダーとして黄団をまとめたり、クラスや学年にシャツが出ていたら「入れよう」などの声かけ、テントについたら座らせたりするなど、リーダーとして少しでも団長、副団長、3年生、2年生のためになるようなことを自分で考え進んで行動することができました。

ダンスでは、できるだけしっかりとみんなと合わせて踊り切る練習をしてきた。競技の部では、みんなで息を合わせ、声を掛け合いミスをなくしていった。声出しでは、はすかしがらずに誰にも負けなくらいに声を出すことを意識した。時間を守るでは、体育大会で浮かれて時間に遅れないように気を抜かないようにした。話を聞く姿勢も意識した。

体育大会、結果は3位だったけど、過去最高によい動きをしていました。3年間で1番よい体育大会でした。思い出になりました。

赤団 団長 城山大楽

赤団を振り返って、まず、自分がしっかり声を出すことができて良かったです。声を出すのが恥ずかしいと思う人が多かったと思うけど、赤団はどの団よりも声だけは負けないようにしようという目標を立てました。本番ではそれができたと思います。恥ずかしがらずに全力で頑張ることをこれからの学校生活で生かしたいです。また、人前で話すことが恥ずかしかったり苦手だと思う人も、体育大会の経験を生かしてどんどん発表など挑戦してほしいと思っています。

体育大会中、団長3人で話をすることがありました。それぞれの団でダンス、テントの態度、団のまとまりなど、うまくいかないことを相談しました。他の団長2人に助けられました。

ダンスで金賞を取れたとき、円陣を組んだとき、鳥肌が立ちました。やっぱり赤団でよかったと思いました。過去1番の体育大会になったと思います。ついてきてくれた赤団のみんな、ありがとうございました。

青団 団長 千葉大成

私はこの体育大会を通して仲間と協力する大切さと、協力する難しさを学ぶことができました。はじめはあまり前向きではなく、その理由は、自分達でつくったダンスに納得がいっていなかったりなど、準備不足な点があったからです。

縦割り練習がはじまると。多くの課題が出てきました。指示を極力きびしく言わないよう心がけましたが、それではまとまらないと感じることがありました。その使い分けが難しかったです。また、練習は細かい部分まで決めておかないと困ることが分かりました。課題がでる度に、周りの人が助けてくれて、みんなで協力できたので良かったです。リハーサルでは全て負けてしまい、チームのやる気がなくなり、空気がどんよりとしてしまいました。しかし、本番も近いので、次の日から声が枯れるまで声を出しました。

当日は最高に盛り上がり、みんなが一つになって1位になれた瞬間は泣きそうなくらい、本当に嬉しかったです。こんなに楽しかったのは、みんなで協力し、一致団結できたからだと思いました。悔いが残らないといえば嘘になりますが、体育大会を通して学んだことを次へとつなげていきたいです。

黄団 団長 井藤蒼葉

どの団も練習の成果を発揮することができた本番でした。メリハリをつけて行動できたことで時間を生み出し、保護者の方も巻き込んで競技ができて良かったです。

今年は体育大会の形が変わるということで、はじめは賛成意見・反対意見とありましたが、最終的には良い意見がたくさんあり、しっかりと計画立てて取り組んだ成果がでて良かったです。

本番をむかえるまで、黄団として苦勞したことがたくさんあります。計画通りにするとうまくいかないこともでてきました。リーダー同士で意見が食い違うこともでてきました。ですが、話し合いを重ね、本番はよい形にできたと思います。

また、団長3人で集まり全体練習をよりよいものにするために話をしました。ばくが、黄団に何度も伝えたことは「楽しんでほしい」ということです。楽しむために必要なことを自分なりに考え話をしました。みんなが楽しいと思えるためには、一人一人が時間を守り、ルールを守ることだと思います。そうすることでみんなが楽しく安全に「良かったな」と思えるものになると思います。今回の体育大会で培った力をこれからの学校生活に反映させてほしいと思います。ありがとうございました。

〇10月14日（金）6校時の山本先生の話〇

こんにちは、先週金曜日に行われた体育大会お疲れ様でした。

団長を中心とした各団での取り組みは本当に素晴らしいものになったと思います。特に縦割り体育では、団長がかける声掛けや、それを聞いた1、2年生の取り組み方が日に日に高まり、みんなの力は素晴らしいと感じました。

体育会後に配布した振り返りでは、たくさんの人がダンスや競技に関して評価が高く、先生が嬉しかったことは2、3年生の生徒の中で多くの人が「昨年度や3年間の中で1番楽しかった。」「いいものが創れた」などの回答があったこと。1年生では、「来年さらにいいもの。そして3年生になったら今回の団長のような団長になりたい」などの回答もありました。つまり、今回の体育大会のはじめに話をした、「駅家中学校を変える」ためのスタートが切れたのかなと思います。まだ、駅家リーダーとしては始まったばかりです。この体育大会での行動を次、どう活かすか？ここが今後大切になるので考えてやり遂げましょう。

今回の体育大会において駅家リーダーはもちろんですが、そのほかに素晴らしい瞬間がありました。

それは 当日のテントでの過ごし方です。

「みんなで創る」ことを大切にしたい体育大会の中で、入場前に静かに待つ姿、自分の団を全力で応援する姿、時には他の団を応援する姿は本当に駅家中学校のいい所だなと思います。それによって、予定通りにプログラムが進み、予定にはなかった地域の方に入ってもらった綱引きなど、より充実した時間となりました。

だから一つお願いがあります。

この体育大会では、全校生徒全員で一致団結する力が大いに見られました。それを体育大会で終了しないこと。

みなさんは教育を受ける権利があります。そのために学校があり、学校で授業を受けて、成長していきます。授業が土台です。2学期が始まってから1か月以上が経ち、気持ちや行動面で少しは気が抜けている所はあると思います。しかし中にはがんばろうと一生懸命に取り組んでいる人もいます。先生は頑張っている人が損をする環境や人生をみんなには創ってほしくないと強く思っています。当たり前に聞こえるかもしれませんが、それができていないのも事実だと思います。

今回、素晴らしい体育大会を創ることができました。次は全員で頑張っている人が損をしない環境をさらに創ってほしいです。その土台が授業だと思います。この体育大会の経験からまずは授業に対する団結を今一度、意識してやりきってほしいと思います。これからの皆さんの活躍に期待しています。

3年生の団長・リーダーがとてもっこ良かったです。自分も来年は団長をしたいと思います。そのために、今から自分を見つめ、自分を高めていきたいです。みんながついてくる団長になりたいです。

綱引きが楽しかったです。大人も参加してあんな感じだとおもわなかったです。来年もやりたいなと思いました。

体育大会は団長やリーダーだけではできません。駅家中学校の生徒一人一人が創りあげたものです。たくさんの人で協力し、1つのものを創りあげる。時代が変わっても、その素晴らしさは変わらないと思います。

体育大会に関わってくれた全ての人に感謝です。ありがとうございました。

